

県政モニターアンケート(平成 30 年度、令和 2 年度)

○ 調査方法

対 象：福岡県 県政モニター 400 名

調査方法：インターネットサイトに公開したアンケートにモニターが回答を入力

調査期間：平成 30 年 11 月 14 日～ 11 月 28 日

令和 2 年 11 月 11 日～11 月 27 日

回 答 率：平成 30 年度 90.3%(361 名が回答)

令和 2 年度 90.0%(360 名が回答)

※ 平成 19、22、24、26、28、30 年度、令和 2 年度実施の調査で、同じ設問については結果を参考までに並記した。ただし、県政モニターの構成員が異なるので単純な比較はできない。

○ モニターの内訳

【平成 30 年度】

項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊
	人数(人)	構成比				
総数	人数	361	90	188	50	33
	構成比		24.9%	52.1%	13.9%	9.1%
性別	女性	212	53	109	27	23
	男性	149	37	79	23	10
年代別	20代以下	54	13	32	3	6
	30代	85	14	46	16	9
	40代	84	21	43	12	8
	50代	62	19	30	9	4
	60代	48	15	24	6	3
	70代以上	28	7.8%	8	13	4

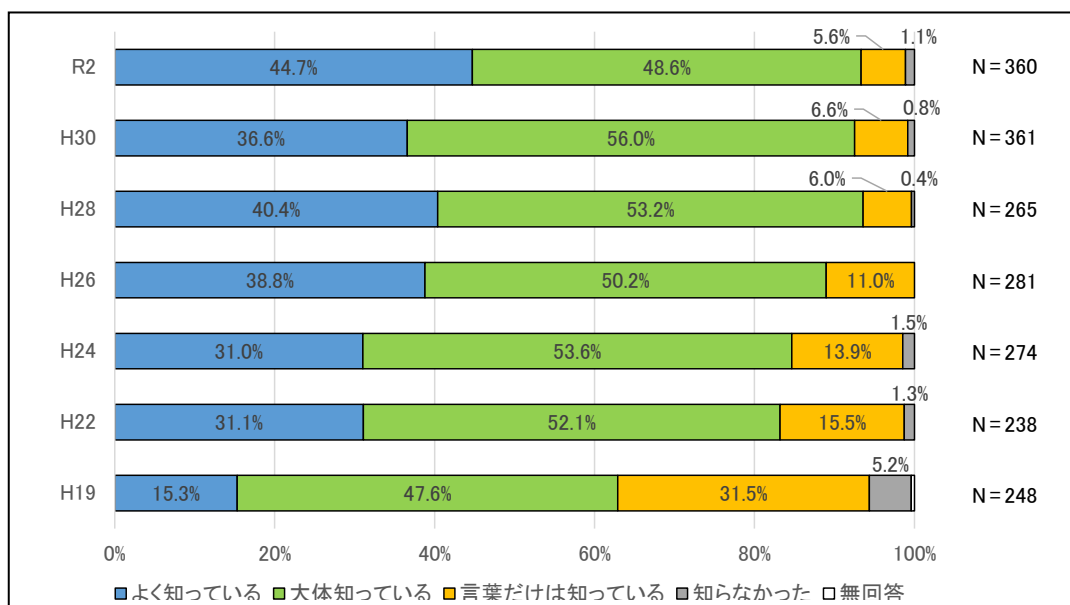
【令和 2 年度】

項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊	
	人数(人)	構成比					
総数	人数	360	76	196	54	34	
	構成比		21.1%	54.4%	15.0%	9.4%	
性別	女性	204	39	116	30	19	
	男性	156	37	80	24	15	
	その他	0	0	0	0	0	
年代別	20代以下	44	4	30	7	3	
	30代	76	16	42	9	9	
	40代	80	11	49	12	8	
	50代	73	18	37	14	4	
	60代	51	14.2%	15	23	6	7
	70代以上	36	10.0%	12	15	6	3

○ 結果

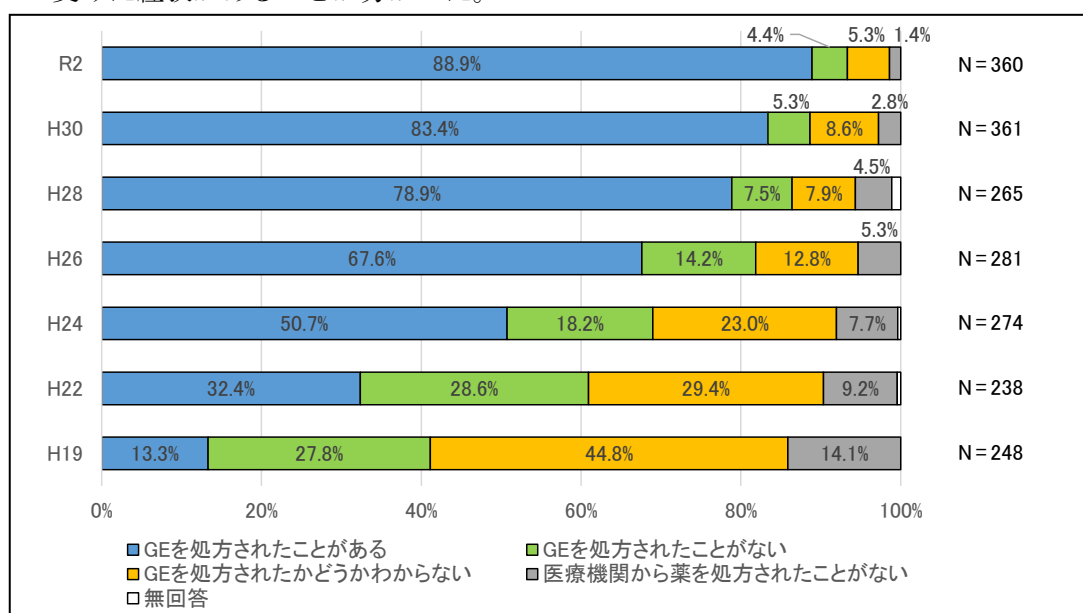
問1 GEの認知度

「GEを知っていますか？」との問いに対して、「よく知っている」又は「大体知っている」と回答した人は、平成30年度92.6%、令和2年度93.3%とやや増加している。「言葉だけは知っている」まで含めると、平成30年度、令和2年度ともにほぼ100%に達した。



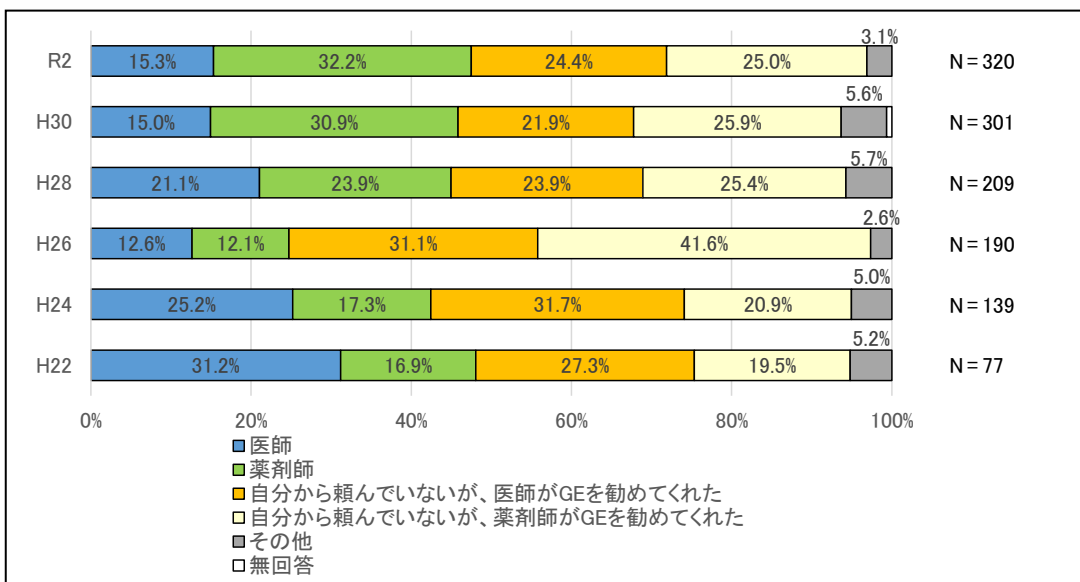
問2 GEを処方された経験の有無

「GEを処方されたことがありますか？」との問いに対して、「処方されたことがある」と回答した人は、平成30年度83.4%、令和2年度88.9%であった平成19年度は13.3%であったものが年々増加し、令和2年度には約90%の人がGEの処方を受けた経験があることが分かった。



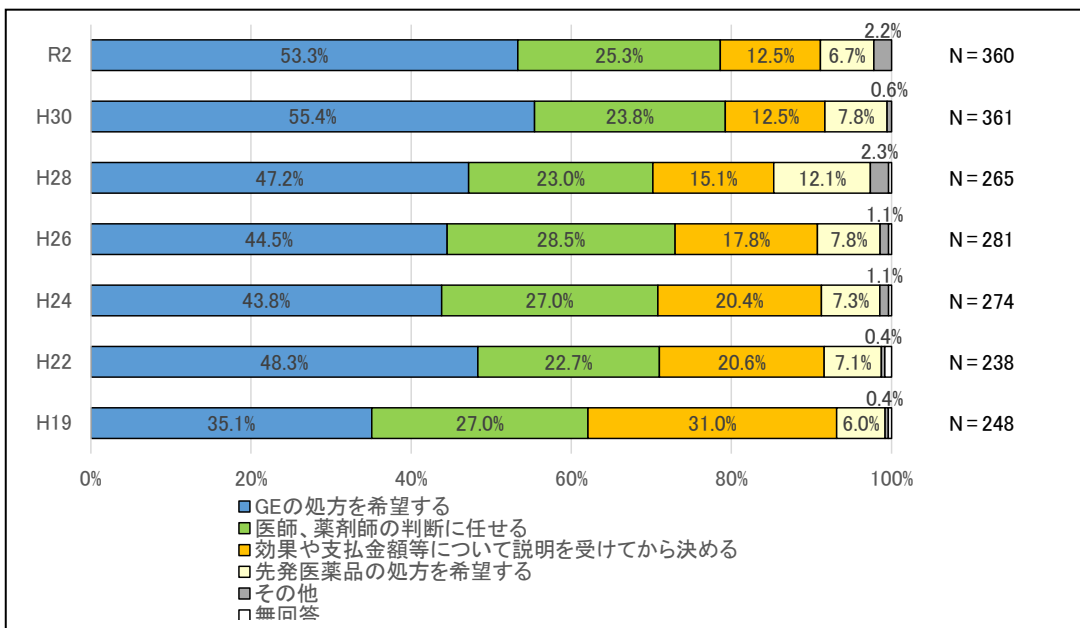
問3 GEの処方を誰に依頼したか

「GEの処方を誰に依頼しましたか？」との問いに対して、「薬剤師」が最も多く、「自分から頼んでいないが、薬剤師がGEを勧めてくれた」と合わせて50%程度で薬剤師が関与していた。また、「医師」「自分から頼んでいないが、医師がGEを勧めてくれた」が合わせて40%程度と、医師の関与も多く見られた。



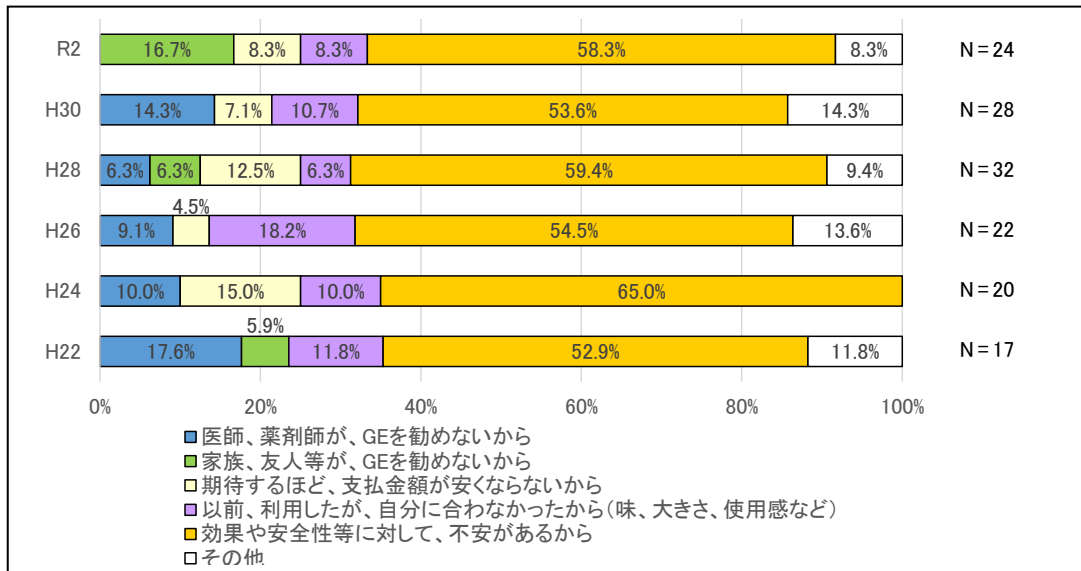
問4 先発医薬品とGEのどちらを希望するか

「先発医薬品とGEのどちらを希望しますか？」との問いに対して、「GEの処方を希望する」と回答した人は、平成30年度55.4%、令和2年度53.3%で、50%台まで伸びた。一方、「先発医薬品の処方を希望する」という人も概ね7~8%程度で推移しており、一定程度いることが分かった。



問5 問4で「先発医薬品を希望する」と答えた理由

「先発医薬品を希望する」と答えた方に理由を聞いたところ、「効果や安全性等に対して、不安があるから」という回答が平成30年度53.6%、令和2年度58.3%で、平成22年度から毎回最多となっている。



問6 処方せんの「変更不可」欄に「✓(チェック)」または「×」が記載されていない場合、患者の合意の下、薬局の薬剤師の判断でGEを調剤できることを知っているか

処方せんについては、個々の処方薬ごとに、後発医薬品への変更の可否を明示するよう、平成24年に様式が見直され、「変更不可」欄に「✓」または「×」が記載されていない場合、患者の合意の下、薬局の薬剤師の判断でGEを調剤できることとなった。このことを知っているかとの問いに対して、「知っている」と回答した人は、平成30年度29.9%、令和2年度41.7%であり、10ポイント以上増加した。

